

協働のまちづくり通信

◇ひきこもり家族の集い

同じ悩みを抱えた家族同士が交流すると、ちよつとしたヒントが生まれるかもしれせん。まずは、ご家族から、一歩踏み出してみませんか。

▼日時 7月23日(火)14時～16時
▼会場 大網白里市生活相談センター リンクサポート (富田21307)

▼募集人数 先着10人程度
▼対象 市内のひきこもりの家族を抱えた方、支援者 ※その他の地域の方は相談ください。

▼参加費 無料
▼申込 特定非営利活動法人 リンク/長谷川 0475(72)5439 0475(72)5452 info@npo-link.jp

◇「カフェかきつばた」で出前講座「ピロリ菌と胃がんの関係」を開催

毎月第2・4(木)に開催している認知症カフェ「カフェかきつばた」で、出前講座「ピロリ菌と胃がんの関係」を開催します。近年の研究から胃がんの原因について、特に強いリスク要因として注目されるピロリ菌の感染。当日は大網病院の医師が分かりやすく説明してくれます。

地域の皆さんで楽しいひとときを過ごしませんか。

▼日時 7月25日(木)10時～11時
※急患等がある場合、開始時間が遅れることがあります。ご了承ください。

▼会場 小規模多機能型居宅介護事業所かきつばた(南横川172616)
▼参加費 無料



▲出前講座の様子

◇街資源再興プロジェクトより

海浜植物のハマボウフウを栽培して市の特産品を目指すハマボウフウ特産品化プロジェクトの活動をしています。特産品化のホームページでは、活動内容を分かりやすく掲載しています。ぜひご覧ください。

「大網 ハマボウフウ」で検索してください。

You Tube にハマボウフウストーリー動画も公開しています。露地物のハマボウフウの販売を開始しました。販売場所については問い合わせください。今回は、ハマボウフウの美味しい食べ方を紹介します(左上)。

※当団体は白里海岸での環境の整備と、自生する海浜植物ハマボウフウの保護・再生活動も行っています。

街資源再興プロジェクト事務局(まちサボ) 0475(72)8278

※事前申し込みが必要です。
団・社会福祉法人翡翠会法 人事務局 0475(72)9806

農地パトロール(利用状況調査)を実施

農業委員会は農地の公的管理主体として、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図っています。このため、遊休農地の把握と発生防止・解消および農地の違反転用発生防止対策のため、農地パトロール(利用状況調査)を実施します。

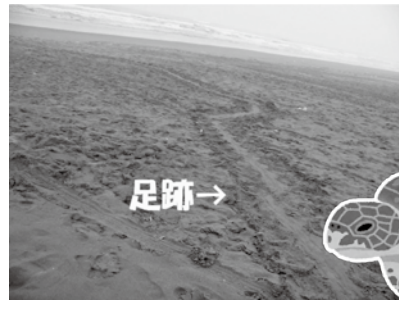
農地パトロールの実施は農地法に定められており、今年度は8月上旬まで行います。また、農地所有者の皆さんは、調査の際に農地の中へ入ることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

団農業委員会事務局 0475(70)0393

ウミガメの産卵について

白里海岸では、6月から9月ごろにかけて、ウミガメが産卵に訪れることがあります。足跡や産卵跡を発見した方は、連絡ください。

団商工観光課振興班 0475(70)0356



ハマボウフウの美味しい食べ方

「ハマボウフウの天ぷら」
・衣をつけてサッと揚げます。お塩がおすすです。



「ハマボウフウと牛肉炒め」
・先に卵を炒めて取り出し、次に牛肉を炒めハマボウフウを加え卵を戻し入れ、塩コショウで味を調える。(お好みでオイスターソースを加えてもおいしいです。)



その他、酢味噌和え・ピザやパスタなどの洋風料理でもお楽しみいただけます。

ひまわりが咲き誇ります



毎年「ひまわりの里山辺実行委員会」が栽培しているひまわり畑が見頃を迎えます。

農村ふれあいセンターやまべの郷前の約1haの畑に加え、JR外房線陸橋下の畑でも栽培しています。線路からも見えるひまわり畑にぜひお越しください。

※約20台駐車可能

▶見頃=7月下旬～8月上旬(開花時期は天候によって変わります)

▶品種=ハイブリッドサンフラワー

▶本数=約5万本(種まき数)

※農村ふれあいセンターやまべの郷前約1ha、JR線路脇約0.5ha

団農業振興課農政班

0475(70)0345

◇ブルーベリーの収穫体験(要事前予約)

▶期間=7月20日(土)～8月25日(日)

▶場所=農村ふれあいセンターやまべの郷前(ひまわり畑隣接ほ場)

▶費用=小学生以上1,000円、小学生未満500円

団ひまわりの里山辺実行委員会

0475(72)2925

男女共同参画だより

日本の6歳未満の子どもを持つ男性が1日に家事や育児などに費やす時間は何分くらいだと思いますか。

平成28年の社会生活基本調査では、6歳未満の子どもを持つ男性の家事育児関連時間の全国平均時間は83分、千葉県は87分で、徳島県と並び全国で13位という結果でした。この時間は、諸外国に比べてもかなり短い時間となっています。

そこで国では、この家事・育児関連時間を2020年までに150分にすることを目標に、さまざまな取り組みを行っています。その取り組みの一つが、市でも平成29年より市長がサポーターとなり、推進している「おとう飯(はん)」です。

簡単に、手間を掛けず、多少見た目が悪くてもおいしければ、それが「おとう飯(はん)」です。

「おとう飯(はん)」なら、難しそうにみえる料理も簡単にできます。ぜひ挑戦してみてください。

団地域づくり課市民協働推進班

0475(70)0342

◇おとう飯(はん)レシピ「ブリの照り焼き」

～内閣府男女共同参画局ホームページより～



●材料

・ブリの切り身 2枚

・しょうゆ 大さじ1

・酒 大さじ2

・砂糖 大さじ1

・チューブのショウガ 3センチ

●作り方

①耐熱容器にしょうゆ、酒、砂糖、チューブのショウガを入れて混ぜる。

②その中にブリの切り身を入れて、ひっくり返し、①の調味液を両面にしっかり付ける。

③ラップを素材の上に直接かけて(端は空ける)、レンジ(500w)で約7分20秒加熱して完成

※電子レンジの出力に合わせて分数は調節してください。

こちらは消費生活センターです!

「アポ電」かも…知らない番号からの電話に出るのは危険

◇事例1

テレビの制作会社を名乗る人から電話があり、「所得は500万円より上ですか」などと聞かれたが、「答えられない」と言って電話を切った。後日、警察の協力団体を名乗る者から「テレビ番組に関して電話がなかったか。捜査で押収した名簿に名前が登録されている」という電話があった。(70歳代女性)

◇事例2

消防署の職員を名乗る人の電話で「一人暮らしか」と聞かれ、「はい」と答えてしまった。「災害時にすぐに救助できるように確認している」と言われたが不審だ。(女性)

◇ひとこと助言

・実在する機関や企業、家族をかたり、家族構成や資産状況等を聞き出そうとする「アポ電」と思われる電話に関する相談が寄せられています。

・着信番号通知や録音機能を活用し、誰からの電話なのか分かった上で電話に出るなどしてトラブル

を避けましょう。

・心当たりのない着信に出してしまった場合も「〇〇です」と自分の名前を名乗らないことが大切です。家族構成や資産状況を聞かれたら、会話を続けず、すぐに電話を切ってください。

・特に高齢者等に対しては、家族はもちろん地域でも、身近な人を見守り、様子の変化などに気を付けましょう。

・不審な電話があったら、すぐに警察や消費生活センター等に相談してください。

〈参考：国民生活センター見守り新鮮情報第333号より〉

◇市消費生活センター

▶相談日時=祝日を除く(月)・(火)・(水)・(金) 10時～12時、13時～16時

▶会場=中央公民館1階相談室

▶相談電話=0475(70)0344

団地域づくり課市民協働推進班

0475(70)0342